

令和7年度 社会福祉法人四恩会 事業報告書

1. 法人事業概要（全体）

■主な施設設備等整備関連

- ・令和6年元日に発災した能登半島地震において、被害を受けたインクルしか及び学び舎あいの敷地舗装改修工事が令和7年9月までに完了したことにより、全ての災害復旧工事が完了し、全面復旧を実現することができた。
- ・キッチンクラブおしみずにおいて、約1年前から契約発注していた、送迎用マイクロバス（ミツビシふそうローザ）が9月に導入整備された。
- ・チェンジAにおいて、敷地外構フェンス設置工事を実施し、特に海風の影響が強い事に対して、防風用フェンスを海側に設置するなど、安全対策と環境整備を図った。
- ・今浜苑に対して、洲崎福祉財団よりニッサンセレナの購入助成を、またインクルしかに対して、トナミホールディングス松寿会よりホンダN-BOXを1台寄贈いただき、利便性の向上に繋がった。

■主な施設事業所運営

- ・インクルしかにおいて、令和7年9月に敷地内舗装工事も終わり、タイミングを合わせた形で、初の地域交流行事「ふれあい感謝祭」を開催した。
またチェンジAにおいても、初の地域交流イベントを開催した。
- ・今浜苑、ふれんどホーム、学び舎あいにおいて、地域連携推進会議を開催し、地域防災をはじめ、それぞれの地域課題と事業所運営の共有化を図った。
- ・各事業所毎に、虐待防止及び身体拘束適正化、ハラスメント防止、BCP（感染症・自然災害）計画における、各種研修及び訓練を実施した。

■その他

- ・インクルしかにおいて、敷地横に設営されている「仮設避難所」に入居されている方を招待して、初の交流食事会を開催した。
- ・ライフクリエートかほくにおいて、福祉サービス第三者評価を受審し、自己評価を基にした外部評価を受け、課題改善について共通認識することができた。
- ・宝達志水町において、初の「個別避難計画作成説明会」が開催され、あらいぶ、学び舎あいに所属する、ほぼ全ての相談支援専門員が参加し、今後の計画作成に向けた確認を行った。
- ・車両の計画的入れ替えとともに、車両使用状況を把握し、近隣事業所でのシェアなどを実施した結果、年式の古い無駄な車両を廃車するなど合理化を図った。

2. 役員等の任期及び定数

(1)理事及び監事（平成7年6月24日～令和9年6月定時評議員会終結時まで）

理事6名、監事2名

(2)評議員（令和7年6月24日～令和11年6月定時評議員会終結時まで）

評議員7名

(3)評議員選任・解任委員（令和7年6月24日～令和11年6月定時評議員会終結時まで）

委員3名

3. 役員会等の開催状況

(1)理事会（会場はいずれも今浜苑事務所にて開催）

第1回 令和7年6月7日（出席理事6名、出席監事2名）

主な審議事項 1. 令和6年度事業報告・決算報告・監事監査報告
2. 次期新役員（理事・監事）候補者の推薦及び次回理事会日程
3. 次期評議員候補者の推薦について
4. 次期評議員選任解任委員会委員の選任及び委員会日程
5. 令和7年度定時評議員会開催日時及び議案について
6. 社会福祉充実残額報告
7. 理事長・業務執行理事の業務執行状況報告
8. 監事意見等

第2回 令和7年6月24日（出席理事6名、出席監事0名）

主な審議事項 1. 理事長の選任
2. 業務執行理事の選任
3. インクルしか及び学び舎あい敷地 AS 舗装工事
4. 法人将来構想委員会の設置

第3回 令和8年3月9日（出席理事6名、出席監事2名）

主な審議事項 1. 令和6年度法人会計第1次補正予算案
2. 令和7年度法人総合事業計画案
3. 令和7年度法人会計当初予算案
4. 役員等賠償責任保険契約の内容について
5. 法人第三者委員の選任について
6. 各種規程及び規則の制定及び改正について
7. 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告
8. 評議員会開催日程及び議案について
9. 監事より意見

(2)評議員会（会場はいずれも今浜苑食堂にて開催）

定 時 令和7年6月24日（出席評議員5名、出席監事1名）

審議事項 1. 令和6年度事業報告・決算報告・監事監査報告
2. 次期役員（理事・監事）の選任
3. 社会福祉充実残高報告

臨 時 令和8年3月25日（出席評議員7名、出席監事0名）

審議事項 1. 令和7年度法人会計第1次補正予算案
2. 令和8年度法人総合事業計画案
3. 令和8年度法人会計当初予算案

(3)評議員選任・解任委員会

日 時 令和7年6月17日（於：今浜苑相談室）

審議事項 1. 評議員改選に伴う新評議員の選任

(4)監事の会計監査の実施

日 時 令和7年5月29日（於：今浜苑相談室）

実施者 浅田秀章監事、松原道子監事

4. その他法人関連会議及び研修等

(1)事務局会議 6 回（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）

※事務局会議の中で「経営分析会議」「個人情報保護管理委員会」「コンプライアンス・リスクマネジメント委員会」「ハラスメント報告」を併せて実施

(2)法人総合研修（会場はいずれも「インクルしか」で開催：法人研修委員会運営）

初任者研修 令和 7 年 9 月 11 日（参加者 5 名）

中堅職員研修 令和 7 年 10 月 16 日（参加者 5 名）

虐待防止・権利擁護研修 令和 7 年 12 月 4 日（参加者 4 名）

※チームリーダー研修は、参加希望者数が少なく今年度は開催せず。

(3)新任職員研修（各事業所の新任職員対象：採用後 1 か月以内に実施）

法人理念、倫理綱領（虐待防止等）、ハラスメント、BCP 計画及び就業規則の周知徹底など、共通する内容と流れを基に、各施設及び事業所毎に適宜実施。

(4)施設連絡調整会議（管理者会議）

集合形式での会議は実施せず、事務局長が各事業所を巡回し管理者と個別に直接聴き取りを実施し、電話メールにて重要事項の情報共有を行う。

協議内容：現状と課題（管理者総評・重要課題認識共有）

人員体制、事業継続計画策定状況、建物設備機器車両等の状況、電気代燃料費、日用品費等の削減計画、BCP 計画、ハラスメント対策、その他

5. 各施設・事業所総括報告

今浜苑（施設入所・生活介護・就労継続 B 型・短期）【事業活動収入総額：191,937 千円】

- ・施設入所、生活介護は利用者の高齢化、重度化がますます進んでおり、令和 5 年度より夜勤 2 名体制へと強化したが、今年度は日中夜間を含めて大きな事故等のなく推移した。
- ・感染症対策を引き続き継続実施した結果、新型コロナ及びインフルエンザはじめ感染症の発生ゼロを実現し、利用者の健康管理状態がとても安定した中で 1 年過ごすことができた。
- ・日帰り旅行や、レクリエーション、リハビリテーション、アールブリュット展作品展示などのアクティビティについても、QOL 向上を目指し創意工夫して実施した。
特に石川県障害者フェスティバルにおいて、利用者制作の「みんなの輪」が優秀賞（最高賞）を獲得し、開会式で利用者代表が表彰状を授与された。
- ・就労継続支援 B 型では、利用者の高齢化が進み、作業の範囲が狭められる中、椎茸やきくらげなど野菜栽培を中心に、町内学校への食材配送などを実施し、工賃 1 人当たり 17,014 円を達成した。
- ・短期入所については、定期利用されている方に加えて、令和 6 年元日に発生した震災により被災された方の継続利用があり、経営運営双方に大きく寄与できた。
- ・6 年ぶりに、小中学生との交流もちつき大会を開催することができた。

キッチンクラブおしみず（就労継続 B 型）【事業活動収入総額：149,081 千円】

- ・契約者数及び利用者数利用率が高い状態を維持し、安定経営を継続している。
- ・自治会等で出た意見要望を余暇活動に反映し、利用者の満足度向上に繋げる実践を継続。
- ・新しいマイクロバスを導入し、オートステップを採用しており、車両および座席への乗り降りがとてもスムーズとなり、また走行安全性や燃費も格段に向上した。
- ・就労支援全般の最重点目標として利用者工賃向上を掲げ、就労支援事業コスト削減及び売上高の向上を図り、評価基準額をアップした事もあり、平均工賃 20,714 円を達成した。

- ・作業に参加できない利用者への個別課題にも取り組み、活動意欲向上に繋がった。
- ・パン班、菓子班においては、販路拡大とともに新商品開発にも継続して取り組み、売上向上に寄与できた。
- ・町高齢者宅への弁当プレゼント、老人センターや町役場への移動販売、感謝祭、町関係各種イベント販売を通して、地域交流と利用者の社会参加に努めた。
- ・利用者個々の特性を理解し、作業面および生活面における合理的配慮を推進した。

サポートアムニティあらいぶ（センター・ヘルプ・ステーション・相談等）【事業活動収入総額：26,772千円】

- ・計画相談については、月平均41件の実績となり、昨年度をやや下回る結果となった。
- ・委託相談事業について、羽咋市に週1日、宝達志水町、志賀町にそれぞれ週2日、相談支援専門員を派遣した。
- ・地域活動支援センターは、昨年に比べ、月平均利用人数が約13名程度減少したが、各種プログラム活動の充実を図り、また定期講座等も開催しながら、継続的な利用者の受け入れを行った。
- ・日曜日の日中一時支援事業での受け入れを、令和7年7月末をもって休止し、以降の利用者は月平均約30名の減少が生じた。
- ・圏域・地域発達相談サポート事業は、外部ポーター指導者を招き、月2回地域の障がい児、家族に対する療育の指導助言及び生活をするうえで必要な相談等を受けてきた。
- ・羽咋郡市障害者自立支援協議会及び相談支援事業所連絡会は開催されず、担当者との意見交換のみ実施した。

ライフクリエートかほく（生活介護・就労B型・短期・相談）【事業活動収入総額：215,295千円】

- ・6年ぶりに家族同伴での日帰りバス旅行を実施し、また2年ぶりにハニーコーム祭を開催することができ、ご家族や地域との交流をすることができた。
- ・食事サービス委員会・給食委員会を隔月開催し、年1回の食事アンケートによる嗜好調査を実施して、その結果を委員会のおたよりに掲載し、全利用者へ配付した。
- ・石川県立看護大学内学生食堂の運営を継続的に取り組み、売り上げの増加があった。
なお、職員マンパワーの不足状態が慢性的に続き、その他の施設外就労については、運営の効率性を考慮し、減少させている。なお平均工賃は20,105円を達成した。
- ・利用者満足度調査を実施し、集計結果をまとめ、職員にフィードバックするとともに、委員会のおたよりに掲載配付し、支援の質向上に努めた。
- ・相談支援専門員を4名以上確保し、うち1名をかほく市委託相談員として「かほく市障害者基幹相談支援センターあおぞら」に派遣するなど、地域の障害者福祉関係の相談活動に貢献した。
- ・運営管理として、保健衛生委員会及び事故防止委員会、防災委員会を定期開催し、各種対策の周知徹底を図りました。またサービス向上委員会（虐待・身体拘束適正化等含む）を月1回開催し、各種における情報共有及び対策改善策等の周知徹底と研修を実施した。
また感染症及び自然災害のBCP計画を作成し、各委員会にて研修訓練を企画実施した。
- ・短期入所事業及び各種実習生の受け入れ等についても、マンパワー不足の中、可能な限り地域ニーズに応えて、受け入れ実施を継続した。
- ・年4回、苦情解決第三者委員に来所してもらい、直接利用者の様子を把握いただき、個別に話を聴いてもらっている。

学び舎あい（グループホーム・短期・相談）【事業活動収入総額：34,666千円】

- ・開設14年を迎え、年間を通して定員充足の安定した運営が継続できた。また能登半島地震以降、敷地AS舗装面をやり、砂利舗装状態が続いていたが、ようやくAS舗装も完了し、利用者の利便性安全性も含めて全面復旧できた。
- ・支援スタッフは、日々の申し送りに加え、2か月に1度の全体での会議に合わせて虐待防止・身体拘束適正化委員会を同時開催し、会議を通じ、入居者の日中活動の場である「インクルしか」との情報共有をしながら、包括的な支援を行った。
- ・感染防止対策として、対策マニュアルの策定遵守他、ワクチン接種等利用者のみならず、職員個々の体調観察や行動履歴等に充分気をつけて従事した。
- ・避難訓練は毎月実施し、年2回の消防署の立会訓練も実施した。
- ・相談支援は委託相談及び計画相談を継続実施し、介護保険への移行や、複雑多様化する家族環境への援助及び関係機関との連絡調整にも積極的に対応した。

あらいぶ・みらい塾（生活介護・就労移行）【事業活動収入総額：33,203千円】

- ・生活介護は、新規受け入れが無い中で、利用者の入院や入所、利用休止等があり、昨年度と比べ、利用率が約7%減少した。毎月ドライブや外食、買い物等の外出プログラムの実施や、外部講師による各種講座の開催等を通じて、地域交流を図り、地域生活を支援してきた。なお、8月から日曜日の受け入れ休止に伴い、土曜日運営を開始した。
- ・就労移行は、利用者は増加したものの、就労移行実績者が6名あったことから、利用率は安定しなかった。なお移行者については1年後定着率100%が数年継続されています。課題としては、より質の高い評価の在り方、雇用との連携、定着支援の役割明確化及びカリキュラム充実などが求められています。
- ・ハード面では、YouTubeが視聴できる大型テレビを導入設置し、インターネット環境が整備できたため、就労支援プログラムやグループワークを充実することができた。
- ・就職後6か月間のフォローアップ期間を過ぎても、職場の人間関係や仕事の悩みがある場合、定期的に面談したり、時には職場側と交渉して問題解決を図っています。

チェンジA.（放課後児童デイサービス・児童発達支援）【事業活動収入総額：32,679千円】

- ・毎月の利用者数は安定し、目標達成に近い実績を残すことができた。また不登校児童に関する家族への相談援助なども、本人の意向に沿って利用できている。
- ・5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）を取り入れた個別支援計画に基づき、児童一人ひとりの発達段階および特性に応じた療育支援を実施した。
- ・継続して月2回程度のご飯作り・おやつ作りや、各種遊びなどを通じて児童同士がコミュニケーションを促進して、自主的に活動に参加できるよう配慮しながら、お楽しみ会やレクリエーションを企画・実施し、安心して楽しく過ごせる環境づくりを支援した。
- ・児童発達支援の契約者1名に関しては、保育園と併用し継続した利用ができており、自主性の向上が見られるようになっている。
- ・スマートフォン2台を新たに導入し、送迎時や緊急時における連絡手段を整備することで、迅速かつ確実な情報共有体制の構築を図った。
- ・権利擁護及びBCPについて、計画に基づいた研修訓練を継続して実施した。また汚物処理など独自テーマを設けて、その事業所内研修も積極的に行った。

ふれんど1、2、3（グループホーム・短期）【事業活動収入総額：125,832千円】

- ・全体として、一段と高齢化が進み日常支援及び健康維持管理などの度合いも高まってきている現状が更に進んできた。
職員については、特にふれんど2において、石川県立こころの病院を退職された看護師さんの新規採用者が3名となり、充実した支援体制が構築できた。
- ・ふれんど1（3ホーム）は、総定員20名の契約利用が継続し、利用者の生活も総じて安定し、職員間連携も図られた中で大きな事故等もなく、1年間安定した中で運営することができた。
- ・ふれんど2（2ホーム）は、利用者の高齢化や関係性の配慮などが一段と重要となっており、更なる職員間の情報共有と連携充実を図りつつ、利用者への支援を行った。
また、長年利用されていた方が、退所されるなど利用者は1名減となっている。
- ・ふれんど3（4ホーム）は、「ウイズ上田名」「グッドメン」については、利用率も安定し短期入所を併せて支援体制も支障なく実施できたが、「パラレル」については昨年度来、2名欠員状態で、また「ウイズ太田」については、週末自宅に帰る利用者が多く、利用率は変わらず低調であった。
- ・ふれんど3のウイズ上田名ホームについて、「見守りカメラ」を昨年度設置し、特に夜間利用者の安全確保及び職員負担軽減が効果を発揮した。（ふれんど1の3ホーム及びふれんど2たいようホームは既に設置済）
- ・地域連携推進会議を開催し、地域との繋がりとともに、理解促進と社会参加及び地域防災等について連携を確認できた。

インクルしか（生活介護・就労継続B型・短期）【事業活動収入総額：84,734千円】

- ・令和6年元日に発生した地震により敷地内が大きく破損した影響で、1年間敷地内が砂利舗装の状態であったが、9月に舗装工事が完了し、特に送迎移動や敷地内散歩などの際、不都合を生じる状態が続いていたが、ようやく解消することができた。
なお、敷地内電柱の傾きについても、修繕工事が完了した。
- ・利用者数に関しては、震災後の令和6年度は、一時的に利用者が減ったが、今年度は他の事業所へ通えなくなった利用者など新規利用者が大幅に増えた。
- ・生活介護は、震災以降、特に外出プログラムが、道路状況の悪化などから、中々実施できない状況が当初続いたが、今年度は町内インフラの復旧が進み、ほぼ震災前と変わらない程度にまで活動の幅が広がった。
- ・就労継続B型については、パン作業について、令和6年度より商品化及び販路販売の取り組みを開始し、直ぐに当初の目標を達成した形での活動ができるようになったが、今年度の平均工賃は16,195円を達成し、昨年度より690円増加した。
- ・運営管理として、個別健康管理とともに感染症防止対策の徹底を図り、感染疑いのある方が発生した場合のエリア分け、感染キットの活用、日々の消毒を継続した。
- ・自己決定支援について、写真データによる視覚情報を活用し、合理的配慮の充実強化を行うとともに、虐待防止など人権擁護実践に継続して取り組んだ。

※各施設・事業所の事業概要及び利用実績については別紙一覧表参照

6. 苦情解決関連・社会貢献及び地域貢献関連

別紙により事業所毎に記載

令和7年度 施設・事業所概要及び利用実績一覧

事業所名	サービス	定員	開所日数	延利用者数	利用率	前年比
今浜苑	施設入所支援	30	365	10,572	96.5%	-2.7%
	生活介護	30	269	8,305	102.9%	-6.3%
	就労継続支援B型	10	269	2,377	88.4%	-1.9%
	短期入所	4	365	671	46.0%	-15.9%
	日中一時支援	4	365	1	0.1%	0.1%
キッチンクラブ おしみず	就労継続支援B型	40	269	12,777	118.7%	1.9%
	日中一時支援	4	269	43	4.0%	-0.4%
サポートアメニティ あらいぶ 地域活動支援センター あらいぶ ヘルパーステーション あらいぶ	特定相談支援（者）			443		
	特定相談支援（児）			64		
	一般相談支援（地域移行・定着）					
	居宅介護	休止中				
	重度訪問介護	〃				
	行動援護	〃				
	同行援護	〃				
	地域活動センターⅠ型	45	263	644		
	日中一時支援	45	269	2,016		
	移動支援	休止中				
	療育支援			68		
ライフクリエート かほく	就労継続支援B型	40	273	10,484	96.0%	1.5%
	生活介護	20	269	5,153	95.8%	-5.0%
	短期入所	6	358	1,283	59.7%	-2.6%
	日中一時支援	10	269	642	23.9%	-10.8%
	特定相談支援（者）			518		
	特定相談支援（児）			113		
	一般相談支援（地域移行・定着）			0		
学び舎あい	共同生活援助	10	365	3,334	91.3%	-0.5%
	短期入所	2	365	0	0.0%	-1.6%
	特定相談支援（者）			192		
	特定相談支援（児）			76		
あらいぶ・みらい塾	生活介護	12	269	1,230	38.1%	-21.1%
	就労移行支援	8	269	1,344	62.5%	-25.9%
チェンジA.	放課後等デイサービス	10	290	2,695	92.9%	-9.2%
	児童発達支援	10	290	89	3.1%	2.3%
	日中一時支援	5	290	22	1.5%	-1.2%
ふれんど1	共同生活援助	20	365	6,804	93.2%	4.4%
ふれんど2	共同生活援助（レインボー、かりん休止中）	12	365	3,734	85.3%	-4.5%
ふれんど3	共同生活援助	25	365	7,497	82.2%	1.8%
ふれんど	短期入所	5	365	54	3.0%	0.7%
インクルしか	生活介護	10	269	3,150	117.1%	6.2%
	就労継続支援B型	10	269	2,413	89.7%	17.2%
	短期入所	2	269	48	8.9%	3.3%
	日中一時支援	5	269	1,639	121.9%	28.3%

令和7年度 社会福祉法人四恩会 事業所別苦情等相談状況

(令和7年4月 ～ 令和8年3月)

今 浜 苑

受付件数	1 件	苦情に関する相談	1 件
		苦情以外の問い合わせや要望・相談等	0 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	1	0	0	0	0	1

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスに対する苦情・要望： 1件

《施設入所・生活介護》

内 容	処理経過並びに結果
今年度、苦情解決受付に至るケースがありませんでした。	

《就労継続支援 B 型》

(利用者 1 件)

内 容	処理経過並びに結果
ある職員から自分ばかり注意されているように感じるので、直接のかかわりをやめてもらいたい。	当該職員と同じ空間で作業を行わないこと、やり取りは他の職員を介して行うことを改善策として提示し、ご理解をいただいた。

キッチンクラブおしみず

受付件数	2 件	苦情に関する相談	1 件
		苦情以外の問い合わせや要望・相談等	1 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	0	0	0	0	2	2

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスに対する苦情・要望：1件

(その他 1 件)

内 容	処理経過並びに結果
納品先店舗の店長より、お客様が商品を購入したが賞味期限切れであったため問い合わせがあった。事業所に確認を取りたく連絡を入れたが、電話対応を行った職員の対応に不満を抱いた様子だったことを管理職に報告。折り返し連絡し確認を行った。	職員の口調や電話越しでの対応に大変不愉快な思いをさせてしまったことを謝罪する。翌日に店舗に出向き再度謝罪をした。商品を購入されたお客様には返金し代替品を渡していただいた。 賞味期限切れの商品が店頭に置いてあったことに関しては、納品時に確認をして引き下げるよう話し合い、今後このようなことがないようにしていくことを伝える。 電話対応した職員には、言葉遣いに気を付け、お客様に謝罪の気持ちを伝えるよう指導した。

(2) 苦情以外の問い合わせや要望：1件

(その他 1 件)

内 容	処理経過並びに結果
納品先より、当日納品された商品を購入されたお客様から賞味期限切れのものであったと問い合わせの連絡を受ける。	店舗とお客様にラベルシールの表記ミスであったことを報告し謝罪する。早急に話し合いを行い、今後は賞味期限の日付確認を職員間でダブルチェックしていくこととした。

サポートアメニティあらいぶ

受付件数 2 件

苦情に関する相談

1 件

苦情以外の問い合わせや要望・相談等

1 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	0	1	0	0	1	2

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスに対する苦情・要望： 1件

(家族 1 件)

内 容	処理経過並びに結果
家族より、本人の出した泣き声のような声に対し、他利用者がとがめるように本人の頭をたたいたと報告があった。両者の安全や関係調整とともに、相手への支援もしっかりと行い、繰り返すことのないようにとの要望。	家族への謝罪を行い、改めて十分な本人への状態把握とともに、相手との関係に配慮することを伝達し、それらの内容を全職員に周知し、対応していくことを伝えた。

(2) 苦情以外の問い合わせや要望：1件

(その他1件)

内 容	処理経過並びに結果
担当民生委員より、なかなか連絡の取れない利用者の様子を心配して問い合わせがあった。	担当民生委員とのかかわりの状況を確認した上で、本人の地域活動支援センターの利用状況を説明するとともに、今後再び連絡が取りにくい状況となった際の連携について話し合った。

ライフクリエートかほく

受付件数	2 件	苦情に関する相談	2 件
		苦情以外の問い合わせや要望・相談等	0 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	0	2	0	0	0	2

※その他・・・ボランティア等

(1) サービスの内容に対する苦情・要望：2件

(家族 2 件)

内 容	処理経過並びに結果
家族より「もう事業所に行きたくない」と本人が言っている。今までは家族の方で話をし、通所していたが「行きたくない」と言ったことがなかったので連絡をした。 職員からの本人に対する口調や態度がきついつと感じる。内職の作業として掃除をしているが、まだ汚れていると言われる。どう汚れているのかを伝え、きれいにできるよう支援してもらうことはできないのか。	就労のサービス管理責任者と話し合い、早急に対応させていただくことを伝え家族と本人に謝罪する。 今後の対応を見直した後、家族へも伝えた。
家族より、数日前から利用者本人の元気がない様子だったため理由を聞くと、パン班が怖いとのこと。職員が他利用者に対し言っている言葉を自分言われているように感じてしまうことがあるため、利用者と職員間で心を持って支援してほしい。 また、本人は豆腐班での作業を希望しているので、そこで作業させてほしい。	つらい思いをさせてしまったことを謝罪する。 クッキー作りや内職は楽しいと話しているので、今後はパン班での作業ではなく豆腐内職班での作業へ変更する。 また、家族からの内容を職員間で周知し、今後の支援に取り組む。

学び舎あい

受付件数 0 件 苦情に関する相談 0 件
 苦情以外の問い合わせや要望・相談等 0 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	0	0	0	0	0	0

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスに関する苦情・要望：0 件

内 容	処理経過並びに結果
今年度、苦情解決受付に至るケースがありませんでした。	

あらいぶ・みらい塾

受付件数 1 件 苦情に関する相談 1 件
 苦情以外の問い合わせや要望・相談等 0 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	1	0	0	0	0	1

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスの内容に対する苦情・要望：1 件

(利用者 1 件)

内 容	処理経過並びに結果
職員の声がやかましいので、もう少し静かにしゃべってほしい。取り組みをしても気になって仕方がない時があるので、その人が座っている席から少し離れた場所に代わりたい。当該職員には言わないでほしい。	当該職員からは少し離れた席に席替えをした。職員にはミーティングの場で、利用者が特定されない形で声のトーンや大きさ等に配慮するよう注意指導した。 その後は、当該職員も話し方に気を付けるようになり、同様の訴えはなくなった。

チェンジA.

受付件数 1 件

苦情に関する相談

1 件

苦情以外の問い合わせや要望・相談等

0 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	0	1	0	0	0	1

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスの内容に対する苦情・要望：1件

(家族 1 件)

内 容	処理経過並びに結果
利用者が職員から馬鹿にしたような発言や否定的な発言、決めつけたような言い方をされたことに不満があり、自宅にて職員の悪口を言っていた。家族からは本人に対して人の悪口は言わないようにと伝えたが、職員がそういうことを言ったのかどうか家族より面談の場で確認があった。	そのような気持ちを抱かせた発言があったことに対し、その場で謝罪した。当該職員に確認したところ、そのような声かけはした記憶がないとのことだったが、子供たちが前途のような心情になったことは事実であるため、声掛けはより一層気を付けてほしいことを伝えた。 後日全体会議で周知し、子供たちがそのような心情になったことを受け止め、支援者として適切な言葉掛けをしなければいけないことを職員全員で確認した。

グループホームふれんど

受付件数 2件 苦情に関する相談 0件
 苦情以外の問い合わせや要望・相談等 2件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	1	1	0	0	0	2

※その他…ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスの内容に対する苦情・要望：0件

< ホーム1・2・3>

内 容	処理経過並びに結果
今年度、苦情解決受付に至るケースがありませんでした。	

(2) 苦情以外の問い合わせや要望：2件

< ホーム2>

(利用者1件)

内 容	処理経過並びに結果
夕食は18:00からなので、17:45に食堂に呼ばれたのは早いと思った。聞きたいラジオがあったので「早い」などカッとなって汚い言葉を職員に言ってしまったことは悪いと思っているが、できれば5分ぐらい前がいいと思う。	他の入居者よりも先に配膳してもらっていたが、何分前と明確に決めてはいなかった。今後は食事の10分前に居室に夕食を配膳することを提案し、本人にも了承していただいた。

< ホーム3>

(家族1件)

内 容	処理経過並びに結果
家族より、来所時に大掃除をした際にマット裏の床にカビを見つけた。浴室に近い居室で湿気が多いということもあると思うので対応をしてもらいたい。	窓を開けて換気する場合とエアコンのドライ機能を使う場合を分けて対応する。また、不在時（帰省、通所、外出中など）は常時エアコンのドライ機能を維持する対応を行う。 以降はカビが生えなくなったと面談時に家族から話を聞いている。

インクルしか

受付件数 0 件

苦情に関する相談

0 件

苦情以外の問い合わせや要望・相談等

0 件

1. 苦情申出人別内訳

事 項	利用者	家 族	代理人	職 員	※その他	計
受付件数	0	0	0	0	0	0

※その他・・・ボランティア等

2. 苦情申出内容別内訳

(1) サービスの内容に対する苦情・要望：0 件

内 容	処理経過並びに結果
今年度、苦情解決受付に至るケースがありませんでした。	

令和7年度

社会福祉法人四恩会 施設・事業所別社会貢献地域貢献メニュー事業

法人全体

- ・生活保護受給者及び生活困窮者に対しての利用者負担金（食費等実費負担）について個別に軽減策を講じ実施

今 浜 苑

- ・今浜苑ふれあいまつりを開催
福祉体験コーナーを設け、地域の方に体験いただいた
- ・餅つき大会を開催
地元小学校の児童を招待して餅つき体験を行った
- ・災害時の福祉避難所として宝達志水町と協定

キッチンクラブおしみず

- ・地元小学校との交流会主催
- ・町高齢者への無料お弁当プレゼント（町社協連携）
- ・町老人福祉センター（宝寿荘）へ移動販売

サポートアメニティあらいぶ

- ・地域自立支援協議会、運営会議への参加、委託相談員の1市2町への派遣
- ・災害時における地域障がい者支援拠点及び支援活動
- ・あらいぶミニ講座による支援活動

ライフクリエートかほく

- ・かほく市地域生活支援拠点等事業および委託相談員の相談センターへの派遣
- ・石川県立看護大学の学生食堂運営を継続し地域に開放
- ・かほく市社会福祉協議会主催の市内の社会福祉法人連絡会に参加
「小中学校等における福祉教育」への取組

学び舎あい

- ・ 緊急レスパイト受け入れ体制
- ・ 行政庁舎における住民向け定期無料相談支援活動
- ・ 災害時における住民の避難場所としての提供

あらいぶ・みらい塾

- ・ 犯罪や非行をして保護観察になった方のうち、社会性に乏しい人や付和雷同する傾向がある人、規範意識の乏しい人の立直りを推進する保護観察所の社会貢献活動事業に登録
- ・ SDGs（持続可能な開発目標）の視点から、事業所周辺の清掃活動（クリーン活動）
「ゴミ拾いをきっかけに町と人をつなげる」をコンセプトに地域社会の環境美化
- ・ 地域サロンで高齢者の買い物支援（移動販売）

チェンジA.

- ・ 地域の除草、ごみ収集等の環境美化（清掃）活動
- ・ 市内児童クラブを訪問してレクリエーションを通じての交流を実施

グループホームふれんど

- ・ 緊急レスパイト受け入れ体制

インクルしか

- ・ 羽咋郡市地域生活支援拠点
- ・ 生活保護受給者に対して利用者負担金の免除を実施
- ・ 志賀町手をつなぐ育成会と連携し、絵画教室を定期的に実施
- ・ 近隣の仮設住宅の方々に向けて無料カレーを提供